



# なぜ、市役所？

小金井の3大問題がごみ処理場、武蔵小金井駅南口再開発、そして市役所の庁舎、場所の問題です。ごみ問題と南口再開発については、西岡真一郎さんの努力もあり進展しましたが(前号参照)、残された市役所問題について西岡真一郎さんのビジョンを聞きました。



## 新庁舎 再エネ拡充・エコ推進！ 未来をつくる拠点！ 公共施設再編スタート！



## 市役所問題解決なくして未来をつくれぬ

### 長年の大問題

長年の大問題が、市役所庁舎です。平成4年に蛇の目ミシン跡地を約130億円で購入したのに新庁舎を建設せずに家賃がかかるリース庁舎(第二庁舎)を使い続け、突如としてリース庁舎を購入する案を示し、すぐさま撤回するなど迷走が今も続いています。

### 市民を守れない

今年10月に市役所本庁舎(昭和40年築)の耐震診断結果が公表され、耐震強度は大災害時に安心できるIs値(※1)0.9を下回る0.54である箇所が見つかりました。耐震強度不足では、防災センターとしての機能を果たせず大震災の時に市民を守れません。東京の大震災が考えられていますから早急に新しい庁舎が必要です。

### 市民負担は？

市役所問題は小金井市の財政が良くないことが解決できない理由とされています。財政も大問題ですが、右のように解決策がありま



小金井市役所本庁舎

すので、いつまでも市役所問題を先送りするわけにはいきません。そこで、私(西岡)のブレインに庁舎がいくらかかるか試算してもらいました。

現在、課題となっている福祉会館と図書館を併設し蛇の目跡地に新庁舎を建設するとした場合【ケース1】、約67億円かかります(※2)。しかし、現在の本庁舎や暫定庁舎を売却すれば約23億円(※3)が収入となり、リース庁舎を借りる時の保証金7億円から元に戻す改修費を除いた5億円が戻ります。リース庁舎を止めれば年間約3億2000万円の家賃を返済に回せて、13年前後で返済可能です。起債はしますが、市民への新たな負担はありません。財政問題と切り離してできるのです。

新庁舎は、蛇の目跡地を売却して暫定庁舎と老朽化している隣接マンションと一緒に建設する【ケース2】、JR中央線高架下に庁舎を建設し、足りない部分を蛇の目跡地に建設する【ケース3】も考えられます。どれも総費用は大きく変わりません。一方、蛇の目跡地の地区計画の検討も視野に入れます。

### 市民の未来へ

省エネを進め再生可能エネルギーを可能な限り使うエコ庁舎にしなければなりません。市役所が率先すれば市内へ再エネ普及が進みます。ミーティングスペースや研修スペースを設け、市民と市職員、研究者などが常に話し合えるフューチャーセンターにしてもいいと思います。小金井活性化、小金井の未来を

つくる拠点にしたいと考えます。

庁舎跡地は、民間活力を導入した商業と住居用地として活用し、高齢者や子どもの施設を併せれば、団塊世代が75歳になって福祉施設が今以上に必要になる2025年問題の対策にもなり、市民の皆さんの不安解消やまちの活性化につながります。

### 市民に役立つ所

ただし、あくまでも試算。どのような庁舎にするかは市民と一緒に考えます。市民と議論する時も選択肢を示さないと議論は進みませんので議論のたたき台です。基本は、市民に役立つ所としての市役所。これを忘れてはなりません。

新庁舎の問題や公共施設の改修問題は、議論の元になるビジョンが示せなかったことにあります。あれこれ批判を並べて迷走し、その場しのぎでなく、具体策を元に、市民の皆さんと一緒に、迷わずに、まっすぐに、未来へ進みましょう。市役所問題の解決なくして未来はつくれません。

- ケース2 蛇の目跡地は売却か交換 本町暫定庁舎と隣接地に新庁舎
- ケース3 JR高架下と蛇の目跡地に建設

※1 構造耐震判定指標。Is値0.9とは大地震動後も構造体の補修をすることなく使用できる数値。一般的な建造物は0.6とされているが、市庁舎や防災センターなどには0.9以上が求められている  
 ※2 建設単価を坪120万で想定。必要床面積18,437.41㎡×0.3025×120万で算出  
 ※3 本庁舎、西庁舎、暫定庁舎などの敷地面積×路線化/0.8で算出



## 危機的 財政問題解消へ 西岡行財政ビジョン

### 緊急40億円対策

小金井市の平成26年度経常収支比率は94.5%。この数値は人件費や市の借金を返すなど固定経費率ですから、新規政策に使える予算が少なく、子育て支援、高齢者対策、まちづくりが進まない原因です。

さらに今後、学校などの公共施設と下水道などのインフラの維持改修だけで、年46億円も必要とされており(『小金井市公共施設白書』より)、税収増、経費削減、不要事業廃止で40億円規模の財源確保が急務です。

まず市役所がやるべきことは、協働や民間が効果的な事業を洗い出し職員削減を進め、まちづくりなどで税収を増やすことです。

また、現在の要求をベースとした予算の作り方は時代遅れです。税収が伸びていた時代のもので、税収に見合った総枠を決め部署ごとに不要な経費を削り財源を生み出す枠配分方式も必要です。

- 【具体策】
- ①まちづくりなどによる税収確保②適正配置による人件費削減③市職員削減④全事業の見直し⑤CoCo/バス等の収益改善⑥枠配分方式予算⑦徴収率向上⑧ジェネリック薬品による医療費対策…etc

### 戦略的 オンリーワンの経営改革

必要なのは経営体質改善です。「先送り」「場当たりの」「他市横並び」では、懸案事項が解決できません。その象徴が市役所問題です。

今後、小金井市は人口及び税収は横ばいから減少に転じ、高齢者が急増します。小金井市の税収は個人市民税が中心ですから人口が減れば税収は減り、さらに財政は悪化します。新規住民に来てもらえるかの都市間競争が現実です。だから、小金井の魅力アップ、

子ども施策が優先です。そのためには財源を生み出し、効果的効率的に政策を推進できる小金井らしい「先取り、戦略的オンリーワンの経営改革」を進めなければなりません。

- 【具体策】
- ①市財政の「見える化」「情報公開」②将来のニーズ・リスクを明確にした上での経営計画作成③迅速な意思決定と実行体制となる経営会議設置④子ども未来基金創設…etc

### 市民協働と 市役所活性化

経営改革は、市民と市職員に掛かっています。小金井の市民力は高く、すばらしい活動をされている方がとても多いです。その力をもっと活かすこと、市民と市が対等になる協働の仕組みを整えることでオンリーワンも実現できます。市民討議会で新規事業をつくりだすことや各事業を見直しも必要です。

市役所職員には、しっかりした考えを持ち、地域のために働く職員もいます。そうした職員がもっと力を発揮し、もっと地域に出て、市民と一緒に働く職員を増やす組織改革、意識改革も必要です。

- 【具体策】
- ①目的を明確にした庁内プロジェクトチーム設置②民間企業も含む幅広い人事交流・派遣研修、実践的な研修制度確立による市役所活性化③民間有識者によるシンクタンクとして経営懇談会(仮称)設置④政策立案から実行までを担うドゥータンク、市民協働センター(仮称)設置⑤プロポーザル型市民事業の募集⑥屋根貸しなど市民共同発電所で再エネ普及…etc

## 市民力 結集！

### 西岡さんに聞く 素朴な疑問Q&A

#### Q なぜ、財政が厳しい？

西岡真一郎：将来を見据えた行政経営がされていないからです。行革を進めても、ごみ問題が後手になったこと、老朽化した図書館など公共施設、上下水道などインフラ老朽対策が手付かずで、結局、財政が良くなりません。

#### Q ごみ問題解決したら大丈夫でしょう？

西岡真一郎：今後、公共施設上下水道の改修で今後40年間に1879億円が必要と推計されており問題は山積みです。しかし、対応が形だけで動こうとしません。誰も決断しないからです。懸案の市庁舎を決めることで、すべての公共施設の再編の議論がスタートできます。

#### Q 誰が市長になっても同じでしょう？

西岡真一郎：財政問題で明らかのように大きな曲がり角です。ごみ問題も待機児問題も予測できた問題でした。問題を批判するだけでなく、将来を見据えたビジョンを示し、市民と一緒に議論してつくれるリーダーが必要です。

さらに、実績と実行力。何よりも小金井市を大好きなリーダーが、今こそ求められています。



市民へ政策を語りかける 西岡真一郎さん



## 住み続けたいまち小金井 みんなでつくる2020-2050 小金井デザイン

- 1 子育て環境日本一の小金井
- 2 健幸長寿・ささえ愛の小金井
- 3 歩いて楽しい賑わうまち小金井
- 4 地域がいのちを守るまち小金井
- 5 湧き水と緑を守るまち小金井
- 6 スポーツ・文化都市小金井
- 7 新しい自治体経営に挑む小金井

市民力  
結集!!



田中 杉並区長  
邑上 武蔵野市長 も応援!

一緒に市民が主役のまちづくりを!

### 西岡真一郎さんのプロフィール

◆1969年生れ。46歳。◆小金井南小学校、小金井第二中学校、都立清瀬高等学校、獨協大学経済学部経営学科卒業。◆自由民主党本部事務局で働き尊敬する武村正義さん（元滋賀県知事、元衆議院議員、元大蔵大臣）とともに新党さきがけへ移り本部事務局へ。その後、米国政府インターナショナル・ビジター・プログラムへ単身訪米。◆1997年小金井市議会議員に無所属の最年少議員として初当選（2期8年）。行財政改革、議会改革、まちづくり等に取り組む。2005年に東京都議会議員に当選（民主党・2期8年）。経済・港湾委員会委員長、築地市場の移転・再整備に関する特別委員会小委員会委員長など要職を歴任。◆小金井桜の保全や花粉症対策、トライアスロン普及や障がい者や高齢者の皆さんにも暮らしやすいまちづくりを進める。東日本大震災では、都の支援を進めるとともにボランティア活動にも参加。2013年に3期目に挑むも惜敗。チャイルド社グループパピーナ本天沼保育園事務長に。2015年6月決意を胸に秘め民主党を離党、9月に保育園を退職し、地元小金井を歩きながら小金井の良さを再確認し、課題解決と未来をつくるために奮闘中。◆趣味は、世界遺産熊野古道巡り、家庭菜園、サイクリング、こだわりのビーフシチューづくり。特技は、いつでも阿波ダンスになれること。

田中 良 杉並区長

▶西岡さんとは、都議会議員時代に一緒に議会活動をしていました。小金井市選出の都議会議員として、深刻な小金井のごみ問題を解決するために東京都等の関係機関からの支援を頂くために取り組む姿や、武蔵小金井駅南口への羽田空港行リムジンバスの導入に尽力する姿、湧水が減り水流が枯渇した小金井市域の野川の水流確保への取り組みを都に要請する姿など、常に地域とともに活動する姿を見てきました。地元で育ち、地元で活動してきた西岡さんなら、素晴らしい小金井のリーダーになると確信しています。



邑上 守正 武蔵野市長

▶西岡さんは、多摩地域と都政を結び重要な役割を果たされ、ごみ問題解決へ向けて大きく力を発揮されました。水面下で汗をかく人柄を尊敬しています。私は、武蔵野市で市民が主役の市政を進め、緑を増やし、歩いて楽しいまちづくりに取り組んでいます。西岡さんの政策とも同じですね。西岡さんと力を合わせて、小金井・武蔵野が連携したより魅力的なまちづくりを進めていきたいと思っています。行動力のある西岡さんに期待しています。



詳しくはこちらへ



小金井が好きだ!

小金井の未来をつくる会 facebook



<https://www.facebook.com/snishiokajp>

西岡真一郎 facebook



<https://www.facebook.com/nishiohashinichirou>



西岡真一郎 twitter

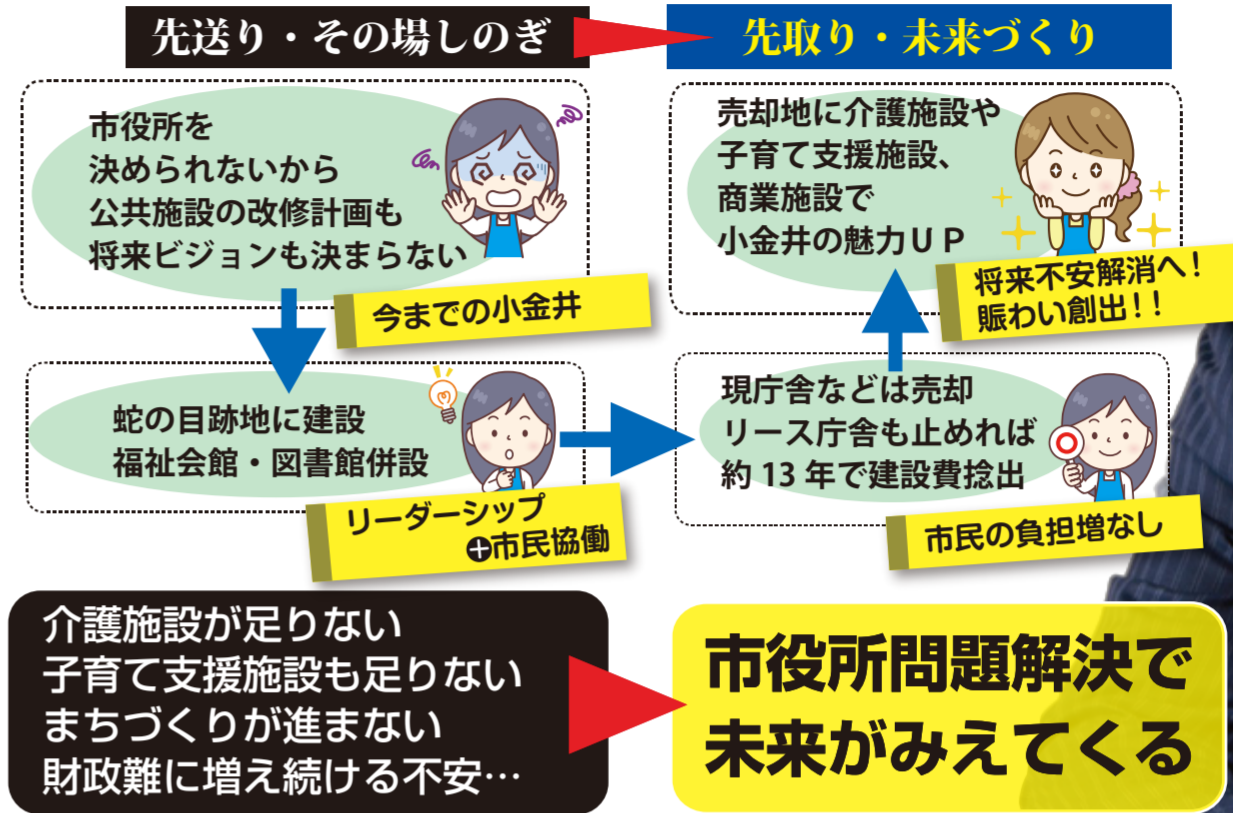


[https://twitter.com/s\\_nishioka](https://twitter.com/s_nishioka)

市民の未来へ

## 市役所問題を決着する。

ごみ、駅前再開発に続く残された大問題

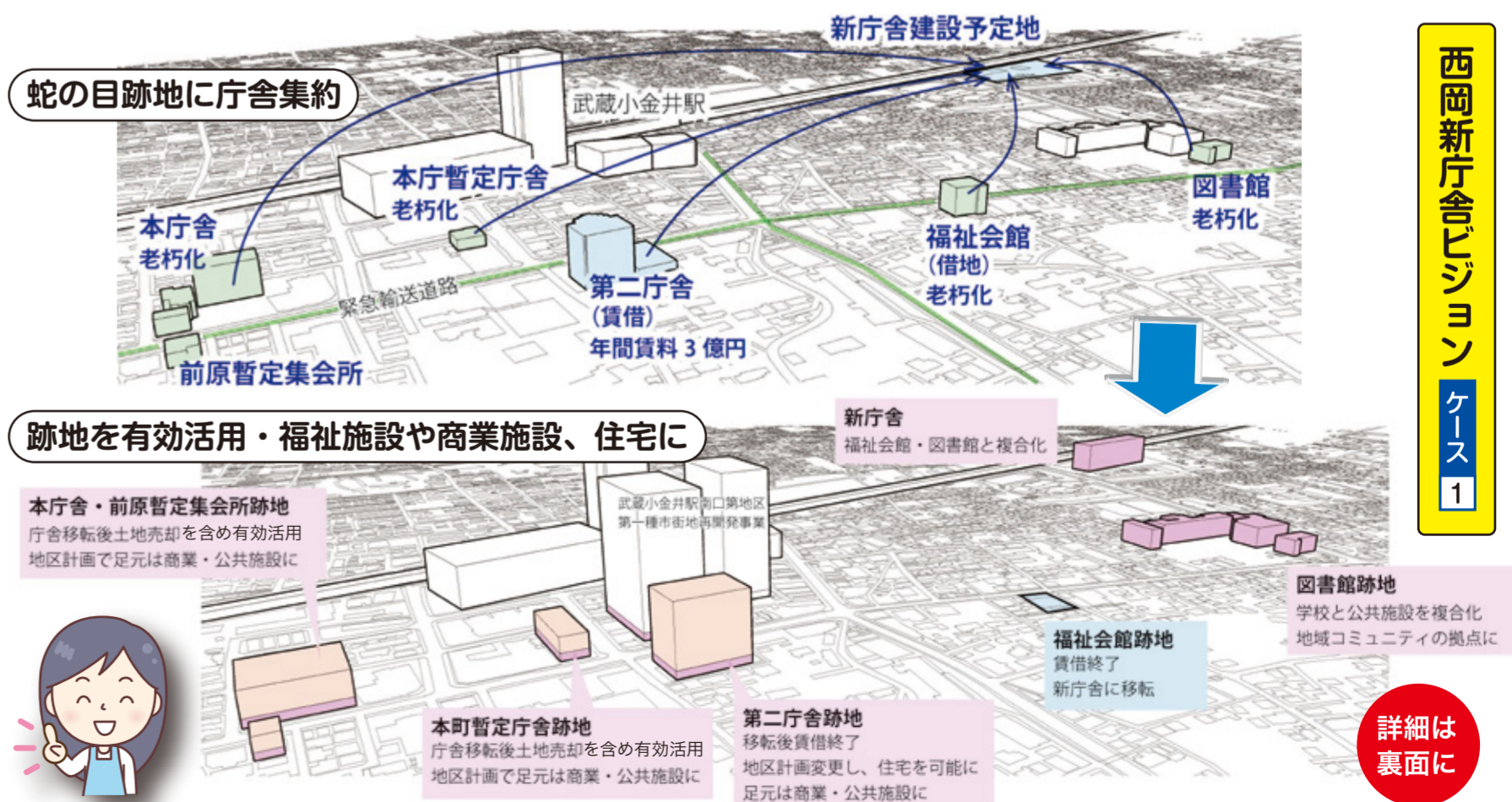


## 西岡真一郎 さんが 未来ビジョン発表

市民力  
結集!

問題解決・未来づくりへ

## 迷うな、まっすぐに



西岡新庁舎ビジョン ケース 1

詳細は 裏面に